



第15号

～ サレジオ会宣教ニュース ～

2010年3月11日

宣教の最前線は宣教師の心から始まる

宣教師、サレジオ会員、
サレジオ・ミッションの
友人の皆さん！

フィリピンのマニラからごあいさつを申し上げます。総長の代理として、4月末までこちらで特別視察を行っています。この四旬節に、皆さんと共に小さな振り返りをしてみたいと思います。この数週間、私たちは、主の過越を準備するため、イエスの十字架にまなざしを注ぐよう招かれています。主は十字架を通して、あらゆる時代のすべての人を救われました。私たちが今月の24日、祈りと断食をもって宣教師殉教者を記念するのもこの観点からです。

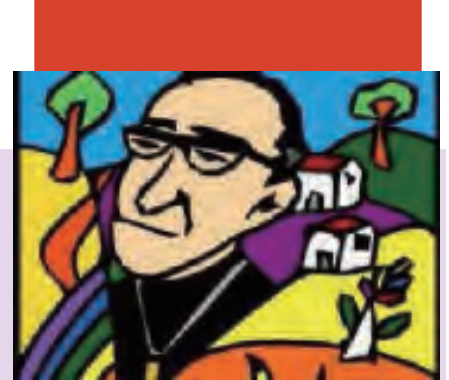
会員の皆さんと話していると、よく次の質問を受けます。「サレジオ会が一番新しい、最前線の宣教地はどこですか」と。サレジオ会員が新たに入った国や場所について聞いているのでしょ

もちろん多くの新しい前線があり、キリストに出会ったことのない多くの若者たちが、「キリストに会いたい」と私たちに願います。実に数多くの国、地域、グループが、宣教の心をもったサレジオ会員を待っています。

私は強く確信しています。新たな宣教活動は、全面的にイエスに開かれ、絶えずイエス探し求め、すべての人にイエスをもたらしたいと希求する私たちの心から始まる、と。私たちの宣教の最前線、ニュー・フロンティアはここにあるのです。私たちがどこにいるかは問題ではありません。

イエスの招きにいつも心を開いていましょう。「地の果てまで行きなさい。」たとえそれが、苦しみを受ける、あるいはいのちを捧げることになっても！

宣教顧問 *Viktor Clavet*
ヴァツラフ・クレメンテ神父



『私のいのちは
あなたのもの』

3月24日
宣教師殉教者の日

アフリカ大陸のための宣教師募集

管区 - 国	必要な言語	環境、宣教師に求められること
ATE - チャド	フランス語	会員は少ない。多宗教、イスラム教の環境。
ATE - 赤道ギニア	フランス語	会員は少ない。多宗教、イスラム教の環境。
MGD - マダガスカル	フランス語 マラガス語	会員は少ない。 ベマネヴェキーの第一次福音宣教。
FRA - モロッコ	フランス語 アラビア語	イスラム教の環境。教育事業(職業訓練センター)。生活のあかしとしての宣教。直接的宣教は不可能。
AFE - スーダン	英語 アラビア語	委任統治区の会員は少ない。南は伝統的宗教。北は第一次福音宣教、イスラム教。
IRL - チュニジア	フランス語 アラビア語	イスラム教の環境。学校長。生活のあかしとしての宣教。
AGL - ウガンダ	英語	会員数は少ない。共同体の力が弱い。

…マラウィからの手紙

アフリカ南東部のマラウィからこんにちは！

マラウィは小さく貧しい国ですが、とても平和です。この国には二つのサレジオ会共同体があります。私たちの共同体は、首都リロングウェの郊外に、技術専門学校、ユースセンター、小教区を持っています。

この共同体は喜びのある共同体です。共同体に喜びがあるということ



とは、日々出会う人々や若者へのよいあかしになります。実際、毎日500人以上の若者が、勉強、仕事、祈り、遊びのためにドン・ボスコ・キャンパスに来るのです。

私は院長で、志願生の係、また召命促進担当でもあります。小さな韓国人共同体の司牧もしています。最近、

私たちは、韓国語で週一回の聖書勉強会を始めました。

私の毎日の仕事は、会員、志願生、ボランティア、若者、教職員、そのほかさまざまなニーズをもって訪れる多くの人々と会うことです。さらに、サレジオ会管区や地域教会の仕事もあります。私にとっては、地元の言葉を学びつづけ、上達することも、大切な務めです。

しかし、宣教師として、イエス・キリストとのより強く深い絆を育むよう努力することは、生活の中で第一に優先することです。イエス・キリストなしには、私は無だからです。イエスは、よい宣教師になるための私の力の源です！

最近、友人のヨハネ李神父の死を、大きな悲しみをもって知りました。スーダンの韓国人宣教師です。私や皆にとって、彼の死は、神の国のために苦しむ用意を常に備えているようにと思わせさせてくれます。

アレキサンダー 金 デ・シク SDB
マラウィの韓国人宣教師

宣教師殉教者の日とは

宣教師殉教者の日は、殺害された宣教師たちを記念し祈るため、毎年3月24日（サンサルバドルのオスカル・ロメロ大司教が暗殺された日）に祝われています。2009年には、30人の司祭（教区司祭19人、修道司祭11人）、3人の修道女、2人の神学生、3人の信徒がキリストのためにいのちを捧げました。[<http://www.fides.org/ita/martirologio/liste/> 参照]

記念日の目的

殉教した宣教師たちのキリストへの愛は、私たちの選択が一貫性のあるものになっているか見直させ、生活と仕事の場で福音を真剣に生きるよう励ましてくれます。今年のテーマは、「私のいのちはあなたのもの」です。差別や迫害に苦しむ宣教師やキリスト者を支えてくださるよう、神に願います。

どのように過ごすか

この日は祈りと断食をし、若者や共同体の意識を高めるために具体的なことを行います。断食によって集まった寄付をハイチに送ることをサレジオ家族に提案したいと思います。イタリア語の資料は、次のサイトで手に入ります：
http://www.mgm.operemissionarie.it/vis_news.php?id_art=687



Salesian Missionary Intention

アフリカのサレジオ家族のために

ドン・ボスコの予防教育法が、アフリカで和解と平和の道具になりますように。

アフリカ司教会議の第二回特別総会（2009）のテーマに照らし、アフリカ・マダガスカル地域は、この6か年に、和解、正義、平和への意識を高め、サレジオ家族が効果的に関わるように歩むことを決めました。社会のただ中で平和の道具となるよう、アフリカの若者たちを育てることによって、私たちのオラトリオ、ユースセンター、学校、小教区での予防教育法の体験は、和解と正義のための潜在的な力になります。



問い合わせ・ご意見は、cagliero11@gmail.com へ